

## 名古屋大学・三重大学・愛知教育大学・岐阜大学 大学連携事業 2017年 同済大学 夏の短期中国語研修プログラム

名古屋大学では、国際的視野を持ち、精神的・社会的に自立し、なおかつ複眼的視点を持った人材の育成を目指しており、そのためには、学生教育の国際化を図りつつ、生きた語学教育を強化していく必要があります。本学の中国交流センターで大学生に「生きた語学教育」を提供するため、協定校である同済大学に協力を依頼し、2010年夏から当研修プログラムを実施しています。2013年からは、名古屋大学・三重大学・愛知教育大学の大学連携事業の一環としても実施しています。2016年からは岐阜大学も事業に加わりました。過去7年間で計161名の研修生に参加していただきました。今年で8回目を迎えます。



### コースの特色

**使える表現の学習を中心とし、見学活動の際に実践できます。**

会話トレーニングに重点をおいており、実践的な中国語を身につけることができます。現在の中国語レベルに関わらず、誰でも参加いただけます。

**たっぷり中国語づけです。**

30時間の授業は全て中国語で行われます。現地学生と交流する機会も設けております。

**生活面のサポートも万全で安心です。**

日常生活をサポートする担任の先生がつくので安心です。また、上海市内には本学中国交流センターもありますので、いざという時に迅速な対応が可能です。

**文化体験、見学活動も数多く含まれています。**

本研修プログラムには、上海市内見学などが含まれており、活気溢れる中国を体感できます。

### 期間

2017年8月8日（火）— 8月22日（火）の15日間（移動日を含みます）

### 応募資格

名古屋大学生・三重大学生・愛知教育大学生・岐阜大学生（中国語を母語とする者を除きます）

中国語レベル不問、会話に重点を置いた中国語でのコミュニケーション能力を向上させたい方を対象とします。

## コース内容

中国語研修（主に会話の強化）、文化体験、上海市内見学など  
詳細については「研修の概要及び費用」をご覧ください。

## 参加費用（授業料、見学費用および宿泊費込み）

参加費用約9.6万円に加えて、航空券代が別途必要になります。  
航空券代は約7.5万円（予定。燃油サーチャージ、空港利用料等含む）。

## 宿泊先

同済迎賓館（二人部屋）

設備：エアコン・シャワー・トイレ・テレビ・机・椅子・ベッド・タンス・Wi-Fi。

## 応募方法

・「同済大学夏の短期中国語研修プログラム申込書」をご記入の上、名古屋大学中国交流センターまで提出してください。（パスポート申請予定者も申し込みを受け付けます。）

- ・個人情報を含む提出物は、必ずパスワードを付けて送信してください。  
パスワードはshanghai2017にしてください。  
（パスワードの付け方…名前を付けて保存→ツール→全般オプション  
→読み取りパスワードの欄にパスワードを入力して保存）
- ・定員は15名です（定員に達し次第募集を終了致します）。

## 応募締切

2017年5月31日（水）正午12：00（日本時間）必着

\* 参加人数に上限があるため、5月31日に（もしくは定員に達し次第）当選結果をメールでお知らせ致します。当選者には別途連絡事項がありますので、必ずメールをご確認ください。当選者は航空券手配のために個人情報の書かれた申請書を6月9日（金）までに提出していただきます。申請書の様式は当選結果のメールに添付します。

## お問い合わせ

※海外留学室ではなく、以下までお問い合わせください。

名古屋大学中国交流センター

Email:office@nushanghai.net

http://www.nushanghai.net

（以前の参加者の感想を上記のHPに公開しております。）

Tel: +86-21-62806185 日本語で対応します。

（こちらの返事が迷惑メールに振り分けられる可能性がありますので、勤務日2日が経っても、返事が無い場合、迷惑メールをチェックしてください。あるいは再度ご連絡ください。）

出発前に、日本でオリエンテーションを実施する予定です。

なお、本研修プログラムへの応募者が10名未満の場合、本研修プログラムは実施されない、あるいは現地における交通費が高くなる可能性があります。その場合は、別途応募者に連絡します。

## 同済大学の紹介

同済大学 (<http://www.tongji.edu.cn/>)

住所：上海市四平路1239号

同済大学国際文化交流学院 (<http://www.istongji.com.cn/>)

1907年に設立された中国の名門大学です。中国で最も早く留学生を受け入れた大学の一つとして知名度も高く、中国語教育レベルは高い評価を得ています。キャンパスは上海の北東部に位置し、大学構内には病院があり、近くにスーパーもあるので、日常生活には不自由しません。地下鉄（10号線）を利用して、繁華街へ出るのにも便利です。

※ 中国におけるPM2.5について、環境省HP「[微小粒子状物質（PM2.5）に関するよくある質問（Q&A） \[PDF 144KB\]](#)」によりますと、「Q. 季節によって PM2.5 濃度は変動しますか。A. 例年、冬季から春季にかけてPM2.5 濃度が上昇する傾向がみられ、夏季から秋季にかけては比較的安定した濃度が観測されています。」と記されています。